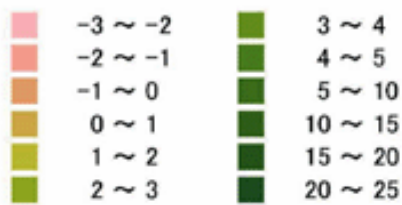


第2節 風水害(台風・豪雨)

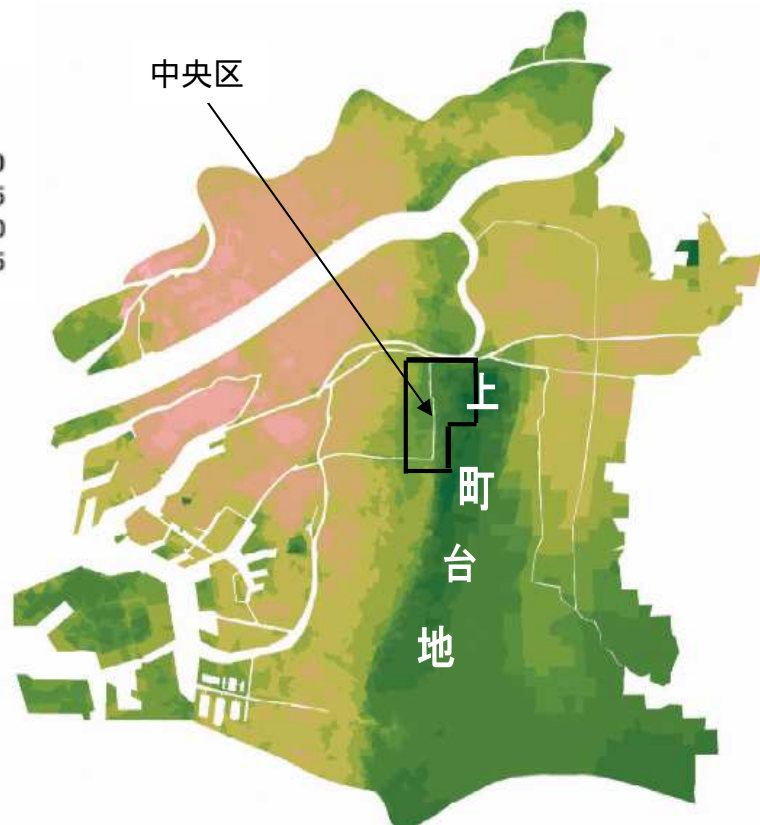
大阪市は多くの川に恵まれ、江戸時代には「浪華の八百八橋」と呼ばれるなど、水の都として発達してきました。弥生時代までさかのぼると、現在の市域の半分近くまで海が広がり、上町台地の東側の内陸部でも湖が広がっていました。このような成り立ちから、市街地の多くが低地で水害に弱い地形といえます。また、河川より低い土地が多く、雨水はポンプで河川に排出しています。

(下の図は、大阪市域の各地点における海面からの地盤の高さを表しています)

海面からの地盤の高さ (m)



中央区の東側は海抜の高い上町台地にあるんだけど、西側は比較的低くなっています。



以下では、中央区で想定されている水害を見ていきます。

(地震により発生する津波については5ページからの第1節を参照してください)

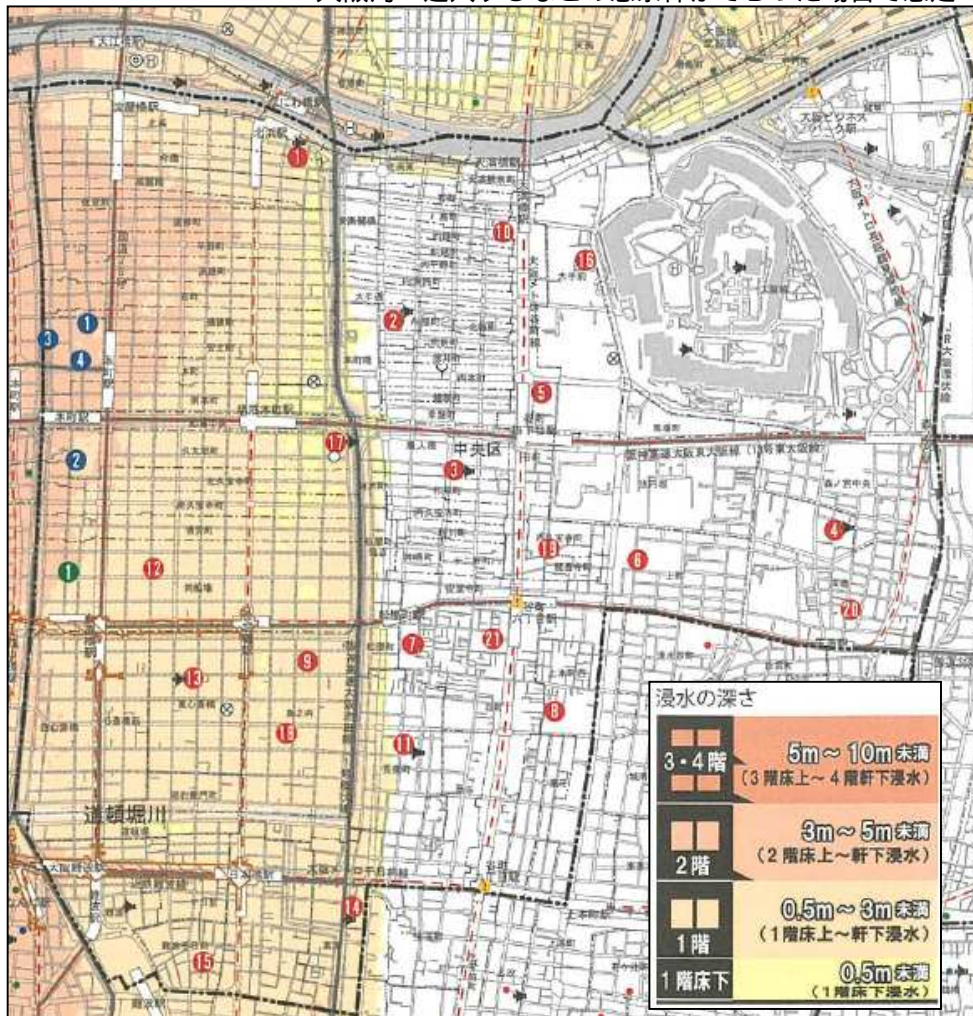
1 台風による災害

強風や大雨による被害のほか、高潮による被害も想定されています。



大阪市では、昭和 51 年以降、高潮による被害は発生していませんが、勢力の強い台風の接近・上陸時には高潮被害が想定されていますので注意が必要です。

高潮浸水想定区域図 非常に強い台風（中心気圧 910ha）が室戸岬から満潮時の大阪湾へ進入するなどの悪条件がそろった場合で想定



凡例：● 災害時避難所 ● 災害時避難所・水害時避難ビル ● 水害時避難ビル

風と雨の強さ

■風の強さと想定される被害

| 平均風速 (m/秒) 予報用語 | 想定される被害 |
|---------------------|--|
| 10以上～15未満 やや強い風 | 傘がさせない  |
| 15以上～20未満 強い風 | 風に向かって歩くことができない |
| 20以上～25未満 非常に強い風 | 車の運転を続けるのは危険な状態となる |
| 25以上～30未満 非常に強い風 | 樹木が倒れ始める 瓦が飛び始める |
| 30以上～ 猛烈な風 | 屋根が飛ばされるなど、木造住宅が壊れ始める |

■雨の強さと想定される被害

| 1時間雨量 (mm) 予報用語 | 想定される被害 |
|----------------------|--|
| 10以上～20未満 やや強い雨 | 長く続くときは注意が必要  |
| 20以上～30未満 強い雨 | 側溝などから水があふれることがある |
| 30以上～50未満 激しい雨 | マンホールから水があふれることがある |
| 50以上～80未満 非常に激しい雨 | 地下街に雨水が流れ込むことがある |
| 80以上～ 猛烈な雨 | 大規模な災害が発生するおそれ強い |

2 河川氾濫による災害

中央区では寝屋川流域（寝屋川・第2寝屋川・平野川・平野川分水路）で河川の氾濫が起これると比較的広範囲に浸水被害が発生する想定がされています。

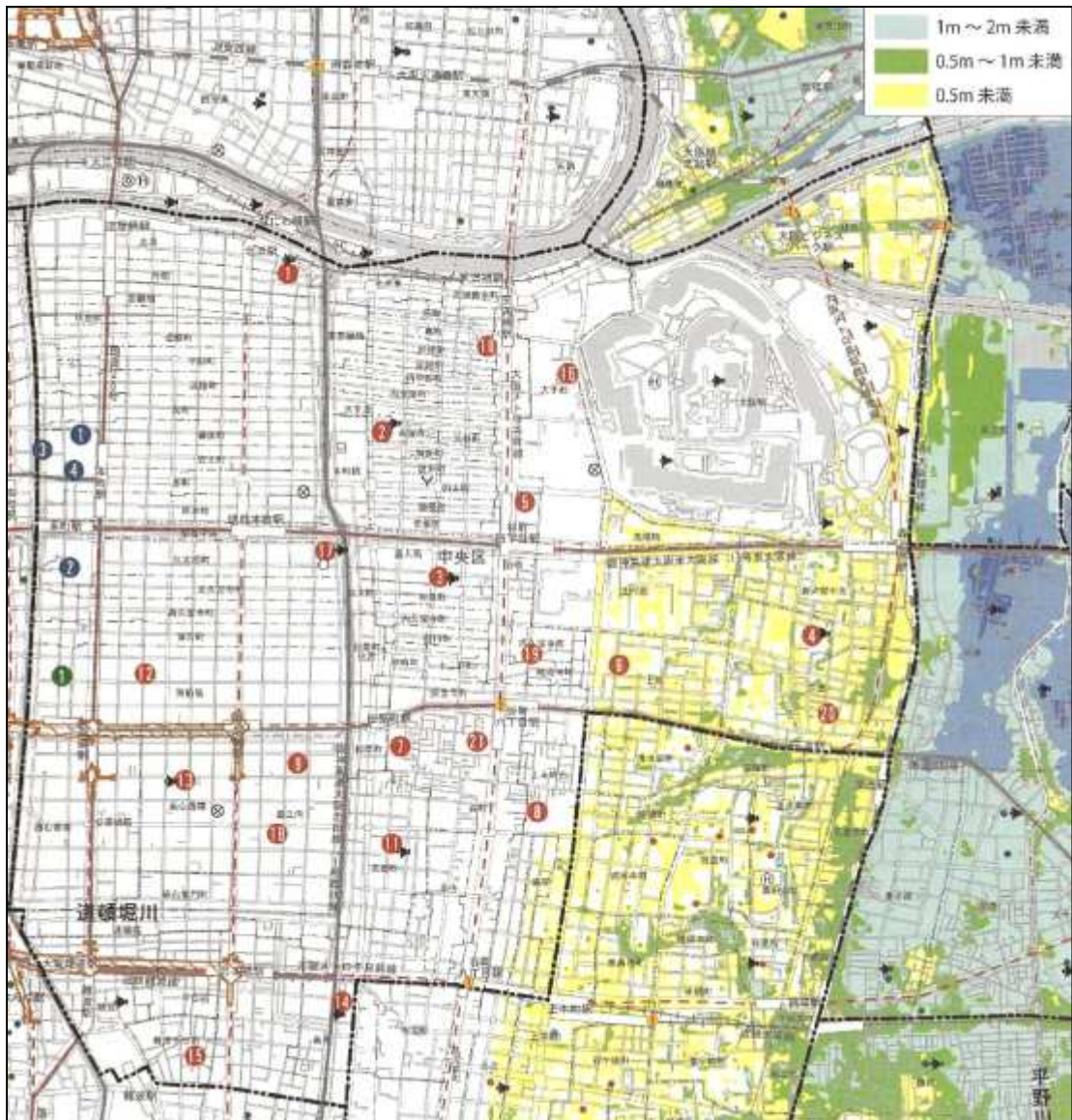
ただし、中央区内の浸水は、地形の特徴などから、河川氾濫による直接的な浸水よりも、河川水位が氾濫危険水位以上になった場合に、堤防の決壊などによる河川流域の壊滅的な被害が広範囲に起こるのを防ぐため、下水道ポンプの運転調整（雨水の河川への排出を停止）を実施することにより起こる冠水・浸水（内水氾濫）によるものと想定されています。



内水とは、堤防で守られた内側の土地に降った雨水のことです。



寝屋川・第2寝屋川、平野川・平野川分水路が氾濫の危険に達した場合、
氾濫した場合の浸水想定区域図



凡例：●災害時避難所 ●災害時避難所・水害時避難ビル ●水害時避難ビル

下記の河川に氾濫のおそれがある場合に大阪市が避難情報を発令します。

対象河川：寝屋川・第二寝屋川 対象区域：城見・森ノ宮中央1丁目

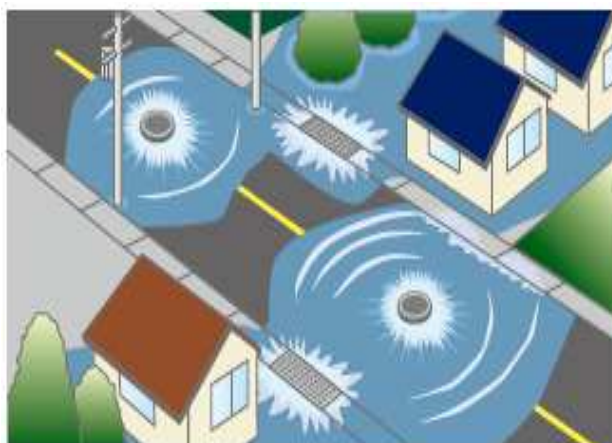
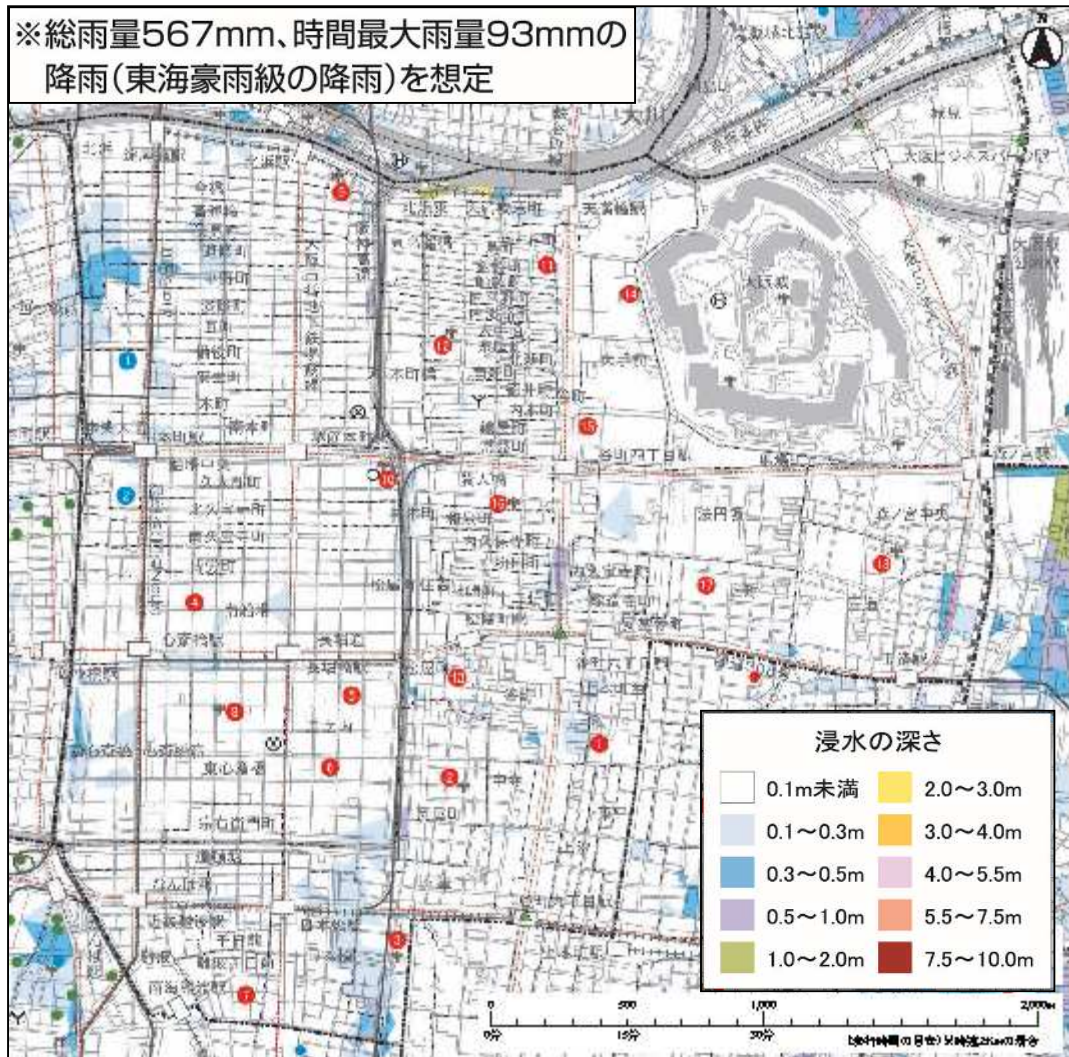
対象河川：平野川・平野川分水路 対象区域：森ノ宮中央1丁目

ポンプ運転調整のため内水氾濫による浸水の注意喚起の緊急メールを配信する区域

上本町西4・5丁目、大阪城、馬場町、法円坂1丁目、森ノ宮中央2丁目、玉造

3 内水氾濫による災害

下水道の排水処理能力を超える一時的な集中豪雨により、雨水が下水道へ排出されずに道路等に雨水が溜まることによる冠水・浸水（内水氾濫）が発生します。下の図は、豪雨による内水氾濫での浸水被害想定図です。



大阪市で10年に1回の大雨(1時間60ミリの降雨量)を想定して、下水道を整備しています。

